

○エル・サルヴァドル国際平和協力 業務の実施の結果

(平成6年5月31日)

1 経緯

1970年代末以来紛争が続いていたエル・サルヴァドル共和国においては、1992年1月に和平合意が成立し、本年3月20日に大統領及び副大統領、中米議会議員、国会議員並びに市長等市議会構成員の選挙が実施され、また、4月24日に大統領及び副大統領の再選挙が実施された。この選挙については、国際連合の安全保障理事会決議に基づき設立された国際連合エル・サルヴァドル監視団(以下「ONUSAL」という。)により行われる国際連合平和維持活動により、公正に実施されるよう監視が行われた。

このための要員の派遣について、国際連合から、我が国に対し要請があり、また、国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(平成4年法律第79号。以下「国際平和協力法」という。)に規定する各要件が満たされていた。具体的には、国際平和協力法第3条第1号に規定する武力紛争の停止及びこれを維持するとの紛争当事者間の合意があり、受入れ国及び紛争当事者の国際連合平和維持活動への同意並びに当該活動の中立性という点に関しては、ONUSALについてそれらが満たされており、また、国

際平和協力法第6条第1項に規定する我が国の国際平和協力業務の実施についての受入れ国及び紛争当事者の同意も得られていた。

これを踏まえ、我が国としても、この要請に応分の貢献を行うこととした。このため、本年3月8日、「エル・サルヴァドル国際平和協力業務の実施について」及び「エル・サルヴァドル国際平和協力隊の設置等に関する政令(平成6年政令第41号)」の閣議決定を行い、同月11日にエル・サルヴァドル国際平和協力隊を設置し、これにより、国際平和協力業務を実施した。

2 エル・サルヴァドル国際平和協力業務の実施の結果に関する事項

渡辺利夫氏以下選挙監視要員15名(国家公務員3名、地方公務員1名、民間人11名)は、国際平和協力本部による研修等を経て、本年3月15日、本邦を出発し、同月16日、エル・サルヴァドルに到着し、同日から23日までの間、ONUSALの選挙監視要員の一人として国際平和協力業務に従事した後、同月23日、エル・サルヴァドルを出発し、25日帰国した。我が国の選挙監視要員の配置先は、サン・サルヴァドル地域事務所に10名、サンタ・アナ地域事務所に5名であった。

ONUSALによる選挙監視業務は、全国に設けられた355の投票所を862名(うち約250名は、我が国を含む国際連合加盟国から派遣されている。)の選挙監視要員が2名のチームにより監視するという方法で行われた。

我が国の選挙監視要員は、上記862名の選挙監視要員の一人として、他国の選挙監視要員とチームを組み、担当投票所において監視するという形で国際平和協力業務に従事した。具体的には、ONUSAL作成のチェックリストに基づいて、投票前は投票所の準備が適正に行われているかどうかの監視、投票中は投票手続きが適正かどうか、投票の秘密が守られているかどうかの監視、投票後は開票が公正な手続きのもとに実施されているか、投票箱の運搬が適正に行われているかどうかの監視等を行った。我が国の要員は、投票所となった学校、体育館等で、炎天下又は室内の蒸し暑い状況の下、中には一昼夜にわたり、他国の要員とも協力しつつ、業務を遂行した。

投票は、若干の技術的な問題を除き、全体として円滑かつ平穏に行われたと言える。一部では、投票開始予定時間に投票箱、投票用紙等の搬入が間に合わず、投票開始時間がかなり遅れたため、投票終了時間までに投票が終わらず、投票のできない住民が投票所入口で抗議するというような混乱が見られた所もあった。しかしながら、これらは、あくまで技術的な問題による混乱であり、政治的な混乱ではなかった。エル・サルヴァドル選挙管理委員会の運営により、エル・サルヴァドル各党代表及びONUSALの選挙監視要員の監視の下で、極めて平穏、整然と投票が行われた所が大部分であった。

エル・サルヴァドル選挙管理委員会により3月30日に発表された大統領選挙の最終開票結果によれば、選挙人登録数は約240万

人で、主要な政党である国民共和同盟（以下「ARENA」という。）及び左翼連合（以下「CD-FMLN-MNR」という。）の得票状況等は、以下のとおりである。

大統領選挙	有効投票数	有効投票割合
ARENA	約64万票	49.03%
CD-FMLN-MNR	約33万票	24.90%

ONUSALは、投票に際し、若干の混乱は認められたものの、選挙は公正かつ自由に行われた旨発表した。

エル・サルヴァドル選挙法の規定によれば、大統領選挙については、有効投票の半数以上を獲得する候補者がなかった場合は、開票結果確定後30日以内に再選挙が実施されることとされている。これに基づき、本年4月24日に再選挙が実施されることとなり、我が国も選挙監視要員を再度派遣し、再選挙の監視業務を行った。

渡辺利夫氏以下選挙監視要員15名は、4月19日、再度本邦を出発し、同月20日、エル・サルヴァドルに到着し、同日から26日までの間、ONUSALの選挙監視要員の一人として国際平和協力業務に従事した後、同月26日、エル・サルヴァドルを出発し、28日帰国した。我が国の選挙監視要員の配置先及び監視業務の内容等は、3月20日に実施された選挙の際とほぼ同様であり、投票は、極めて平穏裡に実施された。

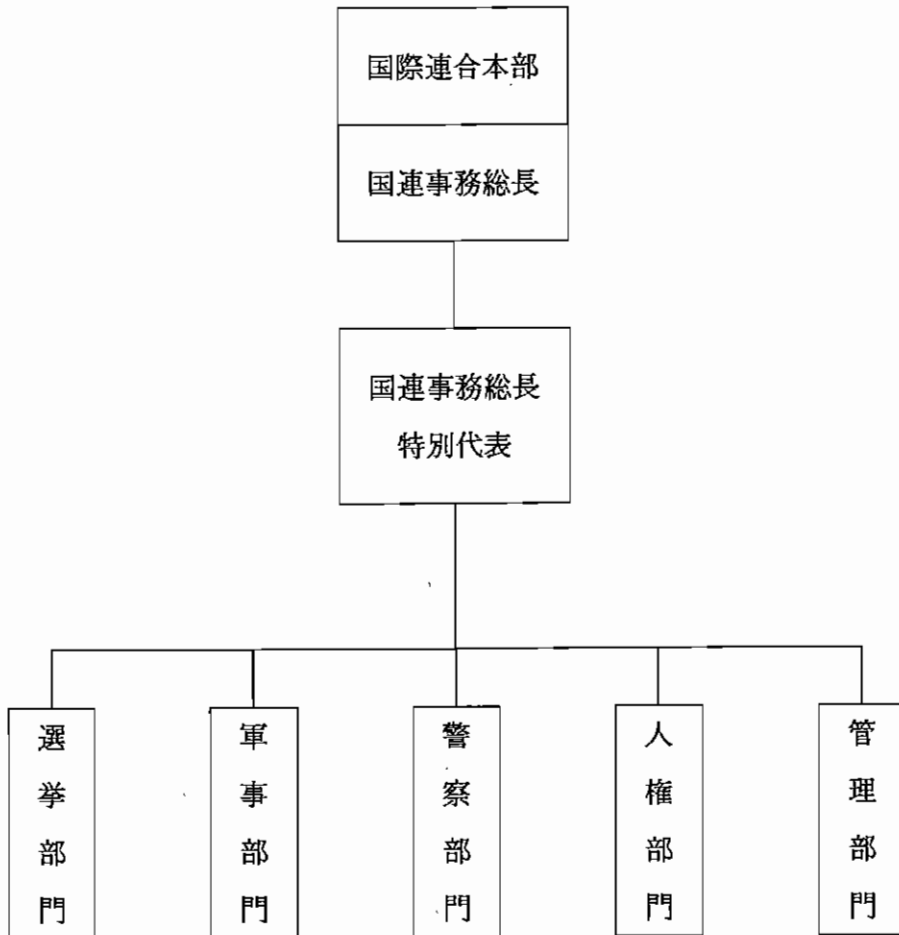
エル・サルヴァドル選挙管理委員会により4月27日に発表された再選挙の最終開票結果は、以下のとおりである。

大統領選挙（再選挙）	有効投票数	有効投票割合
A R E N A	約82万票	68.35%
C.D-FMLN-MNR	約38万票	31.65%

同結果に基づき、エル・サルヴァドル政府はA R E N Aのカルデロン候補が6月1日に新大統領として就任すると発表した。

(参考1)

ONUSALの概要



(参考2)

我が国選挙監視要員の配置状況

